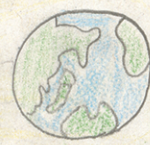


未来を救うのは私たちだ!!



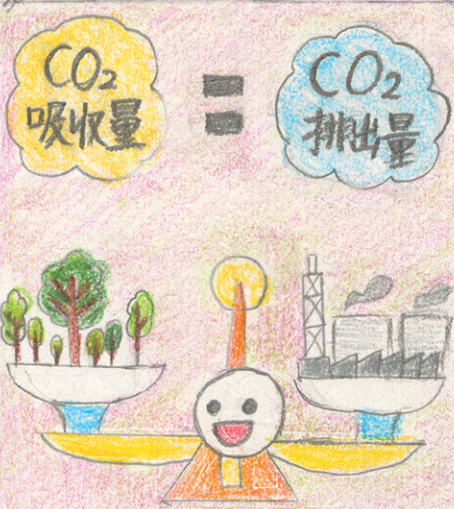
鉄道工新聞

進む地球温暖化

夏休みに入り旅行や外遊びを楽しむにしていると思いますが、連日気温が35℃を超えていく日が続く外遊びをしたら「暑い」と言われることが多くなっています。毎日気温が高くなっている原因は何でしょうか？それは地球温暖化が進んでいるからです。地球温暖化を防ぐためには様々な取り組みが行われています。今回は、鉄道会社の環境に配った取り組みについて調べようと思います。

燃料を燃やす必要がないため二酸化炭素の排出量がとても少なくなっています。そのため、だんから電車を乗るだけで環境にやさしいお出かけになるのです。みんなもぜひ日本が環境にやさしい国になるために、2025年カーボンニュートラル実現に向けて様々な取り組みが行われています。カーボンニュートラルとは地球温暖化防止のために二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量を森林などの吸収源による吸収量を引いた時に答えが「ゼロ」になる状態です。今回は、私が利用する近鉄電車について紹介します。

ひとり1人を1キロ運ぶのに排出するCO₂ (二酸化炭素) (g-CO₂/人キロ) (2020年度)
出典：国土交通省公表データ



近鉄電車の環境に対する取り組み

1. 省エネルギー車両の導入

消費電力の削減ができれば省エネルギー車両を導入し、2024年3月時点で全車両の64.3%が省エネルギー車になっています。

特急「のとり」

この「のとり」は全車両の運行に必要な電気を再生可能エネルギー（太陽光発電）によって供給しています。約4千セの二酸化炭素の排出量を削減できます。この取り組みは、快適な移動空間を提供するだけでなく、環境にもやさしい電車となっています。



2. 新型車両の導入

2024年10月から導入された新型一般車両では、新型のインバータ制御装置の採用により従来の車両に比べて消費電力を約45%削減します。インバータ制御装置とは電気の力をコントロールして必要な時だけ電気を消費し、無駄な電気を消費しないようにできる機械です。

また、新型車両の社内照明はLEDが使われています。



2. LED照明導入

省エネ効果の高いLED照明を、駅や車両で使用しています。2024年3月時点で駅照明は、287の全駅で導入されています。車両照明は車両全体の4.3%でLEDが使用されています。省エネ効果は年間約1758万kwhになります。また、LED照明は省エネ効果は年間約1758万kwhになります。また、LED照明は省エネ効果は年間約1758万kwhになります。

3. 再利用の工夫

紙製の乗車券、特急券はリサイクルして段ボールに生まれ変わります。また、古リレール部品等の利用も積極的です。鉄道の環境に配った取り組みについて調べようと思います。

●制服への再生素材の使用
駅係員用のシングル上着と、駅係員用と乗務員用のズボンに、再生ポリエステルを50%使用しています。

●再生エネルギーの利用拡大
再生エネルギーの利用拡大は地球温暖化対策やエネルギー自給率の向上に不可欠です。大阪線三駅に太陽光発電設備を設置し、運用を開始しました。太陽光パネルによる年間発電量は約3万2千kwで、二上駅や周辺で自家消費されています。今後も鉄道の自家消費型太陽光発電への活用が期待されています。

●自分たちができるエコ活動
・電気をこまめに消す。
・ゴミの分別をする。
・水を出しっぱなしにしない。
・物を大切に使い、使える物は再利用する。

編集後記

鉄道会社の環境に配った取り組みについて調べようと思います。今回は、私が利用する近鉄電車について紹介します。